

令和3年度大野市スポーツ推進審議会（第1回会議録）

● 日時 令和4年1月14日（金）午後7時～8時15分

● 会場 エキサイト広場会議室

・委員交代の報告（小中学校校長会）

●開会あいさつ（会長）

●スポーツ推進課の事業報告

・資料1、2 説明

補足 真名川トイレ新設工事の経緯説明 令和4年度に建設予定

中部日本スキー大会 中止となる動きである

（意見・質問等）

【委員】： 昨年の審議会で、職員の不正に対しどのような対策をしているか聞いたところ現金は取り扱わないようにすると回答していただいたが、ナイター使用料（管理公社）はまだ窓口で現金で納めている。どうなっているのか。

【事務局】： 管理公社と市は対応が異なり、エキサイト広場では納付書による納入をしている。管理公社ではまだ現金による手続きとなっており組織により違いがでている。エキサイト広場では現金を取り扱う場合もあるが、管理についてはしっかり報告するようになっている。

【委員】： 支払い方法を統一していただけると助かる。支払いに行く手間がなくなる。

【事務局】： 管理公社にその旨連絡したい。

●スポーツ推進計画案について

・資料3 説明

（意見・質問等）

【委員】： パブリックコメントの意見をどう反映するか

【事務局】： 意見の内容が要望であったため、計画への反映は考えていない

【委員】： 全国大会など誘致の目標数値を上げているが、今までの数値はないのか。

【事務局】： 大会などは今までの対象の延長であるが回数はカウントしていない。こ

れからカウントして目標とする。

【委員】：市民対象のスポーツ教室は年間 200 回としているがどのように増やすのか。

【事務局】：1 回の教室を 4 回開催した場合、4 回とカウントすることとしている。

【委員】：この数値目標を見たときに、具体的な取組み、基本目標と合わせて知りたいときに資料が見つからないため、見やすくしてほしい。

【事務局】：一概にこの基本目標と目標数値とが合致させづらく、全てに関わってくる。基本はポンチ絵の通りで、全体を通じた中での数値目標として考えていただければ。

【委員】：前回のものは生涯スポーツが基本だったが、方針を転換されたのか。

【事務局】：生涯スポーツとしての言葉は使っていないが、基本とすることによって変わりは無い。

【委員】：e スポーツをどのように進めていくのか。日本は後進国だと思う。考え方の違いはあれど、スポーツに通じるころはある。いち早く大野市で導入することで、「みる」ことにつながり、興味を持ってやってみるにつながる。大野市でこれをどのように取り扱うか。計画にも影響してくる。通常のスポーツと同様に扱うことで誰一人取り残すことなくできると思う。普及、活用の仕方について検討されているのであれば、お考えをお聞かせいただきたい。

【事務局】：どのように取り扱うか議論はした。実際に身体を動かすもの、指先を使うものだけでも健康づくりなどにつながる。e スポーツの有用性、可能性を含めた上で、計画内に記載はしている。フレイル活動などにも使えるとは考えてはいるが、具体的な方法を実施するには至っていない。

【委員】：高校でも部活動として活動しているところもある。範囲も広いので、大野市としてふさわしいものがあれば、疎外せず、逆に利用して使っていただきたい。

【委員】：計画の期間について、今後 10 年と考えると、社会情勢の変化により団競技の存続が危うくなると思うが。

【委員】：5 年ごとに計画を見直すとしている。子どものスポーツ活動について言えば、地域での活動ができるような体制づくりを含め、国や県の事業として動きを注視しながらどのような形がいいか検討していきたい。

●全体を通しての意見等 特になし

事務局 : 次回は3月下旬ごろ、新年度の事業についての説明となる。その際、スポーツ推進計画の完成版もお見せできるかと思う。

●閉会あいさつ 副会長

終了8時15分